

## 新春講演会

## 2018年日本経済の行方

本会では、平成30年1月23日に新年会と併せて、アナリストの西岡純子氏を講師に、新春講演会を開催しました。本稿ではその概要についてご紹介いたします。

## ◆2017年の回顧

年初に存在したトランプ政権への政策不信をはじめとする複数の不安は、年後半には下火に落ちついた形となった。アメリカは、トランプ政権の減税政策の実現によって、各種経済指標は概ね良好な展開となっている。また、中国経済の下振れ懸念や欧州の政治不安についても、景気の失速にまではつなげていないことから、現在では楽観的な見方が支配的である。

しかしながら、北朝鮮情勢による米中露の政治的軋轢、中東情勢に対するアメリカの関与など、依然として地政学的なリスクが存在することも事実である。

## ◆原油価格が与える

## 世界経済への影響

これまでの世界経済全体をみると、原油価格は世界のマーケット全体の方向性を決める非常に重要な要素であることが分かる。

今回の世界的な景気拡大の背景にも、2016年初頭の原油価格の底入れが大きく関係している。

この底入れによって、世界のマーケットは落ち着きを取戻し、今では、例えばアメリカが数回の利上げを実施してもそれに耐えうる程に力強いものとなっている。

原油価格の力ぎを握るサウジアラビアやロシアの動向が気になるところではあるが、原油価格が急激に変動しない限り、世界のマーケットは安定し、世界経済は引き続き好調を維持するものと考えられる。

## ◆日本経済の行方

これまでの日本経済は、主に国際競争力の向上によって景気回復を辿ってきたが、今回の局面においては、イノベーションによる生産性向上の取組みの進展が牽引役

となっており、景気の拡大が進んでいる点に大きな特徴がある。

特に、中小企業にもその裾野が徐々に広がっていることが、今回の景気回復の力強さを裏付けている。

一方で、将来の年金や財政問題などが先行き不安として存在し、いまひとつ消費意欲の改善につながつていないことも事実である。今後も、持続的に日本経済が成長していくためには、政府がこうした問題の解決に向けた方向性を一刻も早く示すことが求められる。

リスクを挙げればキリがないが、概ね日本経済の全体的な見通しは明るく、政府により「デフレ脱却宣言」が行われる日もそう遠くないであろう。



## 〈プロフィール〉

株式会社三井住友銀行 市場営業統括部  
チーフ・エコノミスト 西岡純子 氏

現在、財務省「国の債務管理の在り方に関する懇談会」のメンバーを務めるほか、テレビ東京「Newsモーニングサテライト」などに出演し、分かりやすい経済分析が好評を博している。

※1月23日に行った新春講演会の内容をもとに本会で要約したものです。



# 求人対策セミナー

効果的な求人募集の方法について学ぶ



大塚昌子氏

1月25日、前橋市・ホテル1ー2ー3前橋マーキュリーにおいて、「人材確保のための効果的な求人対策」をテーマに講習会を開催した。講師は、株式会社エイチ・エーエルのコンサルタントで社会保険労務士・中小企業診断士の大塚昌子氏。

本講習会は、各業界において人材・人手不足が顕在化している中で、優秀な人材の獲得につなげるための、効果的な求人募集の方法について学ぶことを目的に実施した。

大塚氏は、求人募集で最も大切なことは、「求人情報が求職者の目に留まり、選ばれること」であると説明。そのためには、求人情報に給料や職種だけではなく、経営者の理念、雰囲気、仕事仲間の顔写真といった情報についても掲載

するようにし、求職者が入社後の自分の姿、将来ビジョンを想像できるようにすることが肝要であるとした。

また、ハローワークや求人情報サイトでは、どうしても自社の情報が埋もれがちになるので、経営者自らが就職面接会や企業説明会に出向き、求職者に直接自社の魅力を訴えかけることが有効だと強調した。さらに、「SNS」や「リスティング広告(※)」を使った求人募集の手法についても紹介した。

最後に、求職者から応募があつた際に「逃がさない」ための対策についても触れ、求職者とのやりとりは、必ず個別に記録を残すとともに、面接日の再確認や面接終了後のサンクスメールの送信など、ひと手間を惜しまないことが人材獲得の秘訣であると述べた。

## (※)リスティング広告とは

Yahoo!やGoogleといった検索エンジンの検索結果に表示される広告のこと。最近では、企業がリスティング広告で求人を行うケースも増えてきている。